

# WRESTLE QUAD 規定

当規定は2024年9月23日開催予定の第33回 WRESTLE QUAD より適用開始となるものです。

## 1. Robot Competition Series “BRAVE”規定

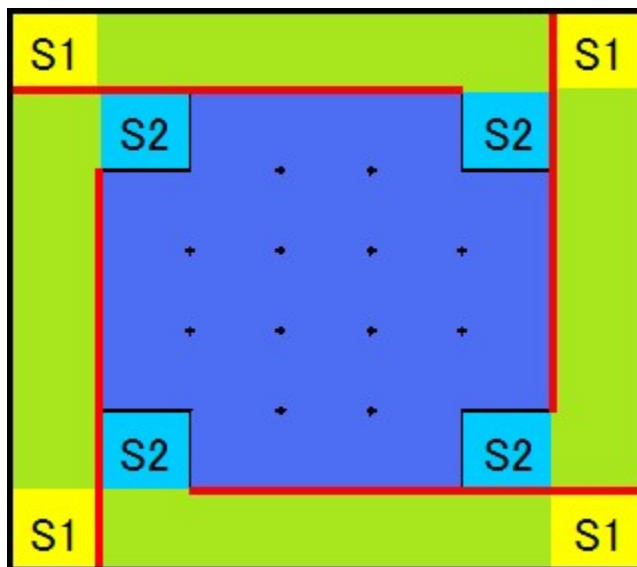
試合は競技者が競技規定に従い、定められたフィールド内において競技参加者各自が用意したロボットを用いて試合を行い、試合規定によって勝敗を決めるものとします。

## 2. WRESTLE QUAD(レスルクアッド)規定

試合開始、各機体に10ポイントを与え、機体規定に則った機体を用いて相手機のポイントを減らしてゆき、試合時間終了時点で最も残存ポイントが多い機体が勝利となります。

## 3. フィールド規定

WRESTLE QUAD は以下の示す構成のフィールドで行います。



\* 各マスは下記のように分類されます。

S1	: 試合開始時のスタート位置・エンタランス走破失敗時の再スタート位置
	: エンタランス
S2	: クリアコール後の再スタート位置
	: アクションフィールド
	: 壁

\* 各サイズは下記の通りです。

S1、S2	: 約300mm × 300mm
エンタランス	: 幅約300mm、距離約1500mm
壁	: 高さ約100mm、厚さ約5mm
全体	: 約2100mm × 2100mm

アクションフィールドと規定されていない場所は全て場外となります。

\* 相手選手のS1、エンタランスは場外となります。

\* エンタランスは試合開始30秒後に場外となります。

フィールド内には様々な形状の障害物が配置されます。

## 4. 試合規定

1試合3分です。

1試合につき最大4機で行います。

試合開始時に各機体に10ポイントが与えられます。

試合終了時に残りポイントが最も多い機体が勝利機体となります。

\* 残りポイントが同一の場合には、機体の受信機がフィールドの中心に近い方が勝利機体となります。

フィールド規定に準じたフィールドを使用します。

機体規定に準じた機体を使用します。

試合は審判の指示・判断を遵守して下さい。選手は審判に対し異議を唱えることは出来ません。

試合中は下記以外では機体に触れることは出来ません。

\* 審判の指示でS1またはS2に移動する場合。

\* 試合中の機体整備を申請し、審判に許可された場合。

\* 審判の指示があった場合。

ポイントの減算は審判のコールによって行われます。視認出来ていない場合はコールされない事があります。

審判のコールに異議を唱える事は出来ません。

## 審判のコール

\* 試合を開始・一時停止・終了させるコールです。

「**始め**」: 試合開始・再開です。

「**(コーナー色)フライング**」: フライングをした為、試合を仕切り直します。

「**待て**」: 試合を一時中断します。

「**そこまで**」: 試合終了です。

\* 試合進行上のコールです。

「**(コーナー色)クリア**」: エントランス走破完了です。

\* ポイントが減算される要素です。該当機体のコーナー色と組み合わせて使用されます。

「**(コーナー色)時間切れ**」: エントランスを30秒以内に走破出来なかった時のコールです。

「**(コーナー色)ダウン**」: 相手の攻撃によって転倒させられた時のコールです。

「**(コーナー色)場外**」: 場外と判定された時のコールです。

「**(コーナー色)ポイントゼロ**」: 残りポイントが0になった時のコールです。

「**(コーナー色)フライング**」: 試合開始時にフライングをした時のコールです。

「**(コーナー色)規則違反**」: 競技規則違反と判断された時のコールです。

\* ポイントを減算させるコールです。上記のポイント減算要素と組み合わせて使用されます。

「**1ポイント**」: 1ポイント減算です。

「**2ポイント**」: 2ポイント減算です。

「**失格**」: 失格です。

試合用意: S1に機体をセットして下さい。

\* S1から飛び出さなければ向きは自由です。

試合開始・審判より「**始め**」のコールが行われます。

\* 「**始め**」コールまで機体を動かしてはいけません。

\* フライングと判断された場合、1度目は仕切り直しとします。

\* 同一試合で2度フライングを行った場合、該当機体は失格となります。

エントランス: エントランスは30秒以内に走破し、アクションフィールドへ入場して下さい。

\* エントランスから脱輪等によって場外と判断された場合は走破失敗となります。

S1からすぐに再スタートします。

\* 30秒以内に走破出来なければ走破失敗となり、「**時間切れ、2ポイント、場外、2ポイント。**」のコール後、該当機は4ポイント減算され、自コーナー色のS2に移動します。すぐにS2から再スタートします。

S2へ移動した機体は「**クリア**」のコールをされた状態となります。

\* エントランスは試合開始30秒後に場外となります。

エントランス: 機体は審判の「**クリア**」のコールがあるまでエントランス未走破の状態です。

\* クリアコールは機体がエントランスを走破し、**S2から機体が全て出た時**に行います。

\* クリアコールを受けていない相手機に対する入場妨害は禁止です。

\* クリアコールを受けていない相手機に対する攻撃は場外に居る機体への攻撃とみなし、「場外、2ポイント」のコール後、該当機体は2ポイント減算されます。場外コール後、選手自身が機体をS2へ移動させすぐに再スタートします。

アクションフィールド:「**ダウン**」のコールは相手機体に攻撃され、機体が転倒した時に行われます。

\* ダウン時は「**ダウン、1ポイント**」コールが行われ、該当機体1ポイント減算されます。

\* 機体の転倒とは、機体が90度以上傾いた状態が継続していると審判が判断した状態を指します。

\* ダウンコールは機体が着地している(着地した)状態でコールされます。

\* 試合中に残りポイントが0になった場合は「**ポイントゼロ、失格**」のコールが行われ、該当機体は失格となります。

**補足**

相手の攻撃以外で転倒状態になった場合、コールはありません。

1回の攻撃につき1ポイントの減算となります。1回の攻撃で1回転した場合などは1ダウンとなります。

アクションフィールド:「**場外**」のコールは機体が場外と指定されている場所に触れた時に行われます。

\* 場外時は「**場外、2ポイント**」コールが行われ、該当機体は2ポイント減算されます。

\* 場外コール後、選手自身が機体をS2へ移動させ、すぐに再スタートします。

アクションフィールド:S2から再スタートする機体に対して、故意に移動妨害をしてはいけません。

\* S2から機体の全てが出るまで、故意の移動妨害・攻撃は禁止です。

\* S2から再スタートする場合、フィールド上4ヶ所のどこからでも構いませんが、進行中の試合の妨害をしないで下さい。

試合終了:勝利機体は残りポイントが最も多い機体となります。

\* 試合終了時刻に審判より「**そこまで**」のコールが行われます。

\* 審判のコールと同時に操縦を停止し、送信機は電源を切らずに手元の机に置いて下さい。

\* 終了時点でポイントが相手機と同じ場合は、フィールド中心に最も近い機体が勝者となります。

\* 残ポイント・機体位置で勝敗がつかない場合は、コイントスで勝敗を決めます。

試合の一時中断:「**待て**」のコールが行われます。

\* 全ての機体はその場で動作を止めて下さい。

\* 送信機を手元の机の上に置き、審判の指示があるまで待機して下さい。

\* 各試合毎に1機体につき1回30秒の機体整備時間が申請出来ます。審判に分かるように申請して下さい。(試合中の整備については機体整備規定をお読み下さい)

\* 審判の判断において、自力で起き上がれない機体に対して救済措置として「待て」のコールと共に機体姿勢の回復を指示されることもあります。その場合には、当該機体が転倒していた場所に復帰させて下さい。

失格

\* 試合中に機体が動作不能・制御不能となった場合は「待て」のコール後、審判の判断により該当機体失格とします。

\* 機体規定にある禁止項目に抵触すると審判に判断されたものは競技進行上の勝者であっても失格とします。(この場合、失格者は当日のその後の競技への参加は認められません。敗者も繰り上げ勝利となることはありません。)

その他

\* 試合が膠着状態となった場合は、審判の判断で機体を移動させるよう指示します。

\* 全ての機体が動作不能で試合が開始出来ない場合は、審判の判断に従います。

\* 競技規則に明記されていない違反行為・迷惑行為が行われた場合、審判の判断により該当機体を2ポイント減算、または失格とします。

\* 故意、過失を問わずフィールドを損壊した場合、その程度によって罰則が以下のように適用されます。  
・試合が続行できるようなフィールド破損の場合 1回目は1ポイント減算  
2回目は3ポイント減算  
3回目は失格

・試合の続行が不可能となるようなフィールド破損の場合は失格とします。

## 5. 機体規定

ラジオコントロール装置をインターフェースとするリモートコントロールロボットとなります。

\* 使用可能電波帯は2.4GHz帯(ラジオコントロール用)のみです。

\* リモートコントロール用送信機・受信機は1機につき1セットの使用となります。

\* 例外として、WiFi(ZigBee・TWE-Lite 等も含まれます)接続での遠隔操作のシステムを自作構築された方も参加可能ですが、**参加申し込み時にあらかじめ申請して下さい。**  
また、通信障害等による動作不良への対応は自己責任で行って下さい。  
通常のR/C装置を利用したロボットへの電波妨害が認められる時は、失格の対象となりますので注意して下さい。

サイズは**210mm×300mm・高さ500mm以内**に収まる事とします。

\* 電源未投入状態で計測しますが、試合開始時も計測時と同じ状態に出来る構成として下さい。  
重量は送信機・受信機バッテリーを除いた、機体本体の**全備重量で1500g以内**とします。  
使用可能なパワーユニット・アクチュエーターは下記の通りです。

マブチモータ FA-130 FF-130SH FC-130 RE-140 RE-260 RC-260

スタンダードモーター FP-130FT FP130SA RP260 FP030KN

京商 MZ9P MZW8P MZW8V

イーグル模型 HT2BB BB1 モーター BB2モーター

サーボモーター 制限はありません。

\* 各パワーユニットの改造は禁止とします。

使用可能な電源は下記の種別のみとなります。

\* マンガン電池／アルカリ電池／オキシライド電池／ニッケルカドミウム蓄電池／ニッケル水素蓄電池／リチウムフェライト蓄電池

移動、障害物走破が出来る機体であること。

公序良俗に反する物は禁止とします。

液体・気体、火薬類の搭載は下記に該当する物を除き禁止とします。

\* 油圧ダンパー等、サスペンション用途としてのみ使用可能です。

フィールド破壊、他機体の破壊や人体への殺傷を行う事を目的とした構成や、それをなす可能性のある機体構成は禁止とします。

フィールドの損壊に伴う罰則規定は「4. 試合規定」に従うものとします。

## 6. 検査規定

選手は各試合直前に試合前検査を受けます。

自身の試合の2試合前が開始し次第、試合前検査受付開始となります。

試合前検査通過後は、指定の場所に待機して頂きます。その間、機体の整備・動作は一切禁止です。

試合のコーナー色は機体検査時のシール色となります。

円滑な運営を行うために時間制限を設けます。

\* **フィールド入場時、MCまたは審判が入場案内1分以内に入場出来なければ失格となります。**

\* フィールド入場後、試合用意が出来次第、審判に見えるように挙手をします。

試合選手全員が挙手に手間取る場合は審判の判断でペナルティを与えます。

\* **他選手が挙手をしてから、1分以内に挙手が出来なければ失格となります。**

挙手後は試合開始まで送信機の操作を行わないで下さい。

## 7. 機体整備規定

会場内での機体整備について

\* 会場内での機体整備は以下の場所において、規定内の作業を行うことが出来ます。

### ①会場観客席・待機席

自分が座っている席です。

他の席を占有しない、軽微なメンテナンスのみ可能です。

充電式ドライバーは使用可能ですが、加工を行う事は出来ません。

### ②メンテナンススポット

機体検査所内に設けられている無料の機体整備場所です。

椅子と机が用意されていますので、席では出来ない分解整備が可能です。

混み具合によって時間制限があります。

充電式ドライバーは使用可能ですが、加工を行う事は出来ません。

### ③メンテナンスエリア

会場別室に設けられている整備専用の部屋です。

機体の分解整備や、小加工が可能です。

AC100Vが使用可能です。充電器等に使用下さい。  
穴あけ程度の加工は可能ですが、加工機械の持ち込みや火花が出るような加工は禁止です。  
加工によるゴミが出る場合はゴミ袋等を用意して下さい。

試合中の整備について

- \* 試合中の整備申請は審判へ分かるように申請して下さい。
  - \* 試合中の整備は**試合毎に1機につき1回のみ**です。
  - \* 整備時間は**30秒以内**となります。30秒後を超えても止めない場合は失格となります。
  - \* 審判が整備時間を計測します。指示があるまでは整備しないで下さい。
- \* バッテリー交換・部品交換・新規部品取り付けは禁止です。**  
部品付け直し・増し締め・部品取り外し・リセットのみ可能です。  
部品付け直しの為のテープ等の使用はやむを得ない場合のみ可とします。
- \* 復帰後は整備申請を行った元の場所に戻します。**

## 8. その他の禁止事項

機体動作に支障をきたすような電波発生装置の使用を禁止します。  
誹謗中傷となる行為は一切禁止します。  
試合中にフィールドエリアから操縦者・機体に影響を与え、周囲へ迷惑行為を行った場合は該当選手を失格とします。

## 9. 試合中負傷又は事故が生じた場合

競技者が試合中に負傷した場合、審判の判断により試合を一時中断する事が出来ます。  
競技者が負傷により試合の続行が不可能な場合は、その時点で試合中断とし該当者は失格となります。

## 10. その他

競技規定が改定された場合、運営委員会は速やかに改訂内容を理由と共に公表します。  
この競技規定のほか、重要な事項については、BRAVE運営委員会の協議・決議により、これを定めます。

## 11. 問い合わせ先

CLUB WAD / “BRAVE”運営委員会  
〒252-0144 神奈川県相模原市緑区東橋本 3-5-32 エクセル飯田 105 号室  
メールアドレス wad-master@mbr.nifty.com